

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

| 事業の概要 | | | |
|--------------|-----|--------------|--|
| 事業開始年度 S46年～ | | | |
| 総合計画 | 大項目 | 基本目標 | 04 もてなしの心とたくましさのあるまちづくり |
| | 中項目 | 基本施策 | 02 起業と創造が支えるまちづくり |
| | 小項目 | 施策 | 05 勤労者福祉 |
| 事務事業名 | | 03 産業功労者表彰事業 | 問 担当課(室) 商工観光課 答 職・氏名 商工労政係長 中島和久 電 話 0869-64-1832 |

| 事業の実施 | |
|---------------------------|---|
| 対 象 (誰・何に対して) | 市内商工業各種産業に永年従事する者。 |
| 目 的 (何のために) | 市の産業発展に寄与し、市民の模範となる者について、その功績を表彰し、もって市の産業を一層発展させる。 |
| 行 政 活 動 (どのような方法で) | 市内商工業各種産業に永年従事し、市民の模範となる者についてその功績を表彰する。 |
| 事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか) | 優良従業員を表彰することにより、勤労意欲の向上を図るとともに、市民の模範となるべく者を広く公表し、市の産業発展につなげる。 |

| 事業の実績 | | | | | |
|---------------|-------------|-------|----------|----------|----------|
| 活 動 | 実 施 項 目 | 単 位 | 平成18年度実績 | 平成19年度実績 | 平成20年度実績 |
| | 被表彰者数(市長表彰) | 人 | 30 | 23 | 24 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 実 績 | 直 接 事 業 費 | 千円 | 234 | 173 | 192 |
| | 必 要 人 員 | 人 | 0.15人 | 0.06人 | 0.04人 |
| | 人 件 費 | 千円 | 1,404 | 501 | 365 |
| | 事 業 費 計 | 千円 | 1,638 | 674 | 557 |
| | 国 県 支 出 金 | 千円 | | | |
| 受 益 者 負 担 | 千円 | | | | |
| 総 入 金 担 債 | 千円 | | | | |
| 市 債 | 千円 | | | | |
| そ の 他 () | 千円 | | | | |
| 一 般 財 源 | 千円 | 1,638 | 674 | 557 | |
| 受 益 者 負 担 比 率 | % | | | | |

| 結果指標 | | | | | |
|-------|----------------|-----|-----------|----------|----------|
| 結果指標① | 被表彰者数(市長表彰) | 単 位 | 平成18年度実績 | 平成19年度実績 | 平成20年度実績 |
| | 結 果 指 標 量 | 人 | 30 | 23 | 24 |
| | 対 前 年 比 | % | - | 76.7% | 104.3% |
| | 活 動 コ ス ト | 円 | 1,638,000 | 674,000 | 557,000 |
| 結果指標② | 結 果 指 標 量 | 円 | 54,600 | 29,304 | 23,208 |
| | 対 前 年 比 | % | | | |
| | 活 動 コ ス ト | 円 | | | |
| | 単 位 当 たり コ ス ト | 円 | | | |

| 事業の成果 | | | | | |
|--------------------|-------------|-----|--------|--------|--------|
| 被表彰者数(市長表彰) | 成 果 指 標 名 | 年 度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 |
| | 目 標 値 (A) | | 25 | 25 | 25 |
| | 実 績 値 (B) | | 30 | 23 | 24 |
| | 達 成 率 (B/A) | | 120.0% | 92.0% | 96.0% |
| 成果指標設定の考え方・式や説明 | | | | | |
| 産業功労者表彰(市長表彰)を受けた者 | | | | | |

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

| 事務事業の評価 | | 妥当性評価<A~E> | |
|---------|----------|--|---|
| 妥当性の評価 | 市の関与の妥当性 | <input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input checked="" type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input checked="" type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある | 判定理由・課題認識 |
| | 市民ニーズ | <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明 | 市の産業発展に寄与し、市民の模範となる者について、その功績を表彰することにより、市の産業の進展を図ることは妥当である。 |
| 効率性の評価 | コスト | <input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている | 判定理由・課題認識 |
| | 目的達成度 | <input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている | 他団体の永年勤続功労者表彰と合同で表彰式を行うことにより、コスト削減、効率性の向上に努めている。 |
| 有効性の評価 | 市民参画度 | | 判定理由・課題認識 |
| | 市民参画度 | | 被表彰者は年度により増減するが、優良従業員を表彰することで、勤労意欲の向上の一役となっている。 |

| 平成21年度の状況 | | | | | | |
|-----------|---------------------------|------|--------|----|-------|-------|
| 目標値 | 結果指標量① | 25人 | 結果指標量② | - | 成果指標量 | 25人 |
| 状況 | 拡充 | 現状継続 | 見直し | 縮小 | 整理統合 | 休止・完了 |
| 説明 | 直接事業費の削減は、限界であり、昨年と同額とした。 | | | | | |

| 総合評価 | | 評価区分<A~E> |
|---|--|-----------|
| 産業功労者表彰は、労働者の勤労意欲の向上を促し、産業発展に有効な事業ではあるが、コスト削減が限界にきていることから、これ以上の見直しは困難である。 | | C |
| | | |

| 平成22年度以降の方向性・内容 | | | | | | |
|-----------------|---|------|------|--------------|------|-------|
| 方向性 | 拡充 | 現状継続 | 見直し | 縮小 | 整理統合 | 休止・完了 |
| 説明 | 直接事業費のコスト削減が限界にきていることから、これ以上の見直しは困難であるため、前年度と同様とする。 | | | | | |
| 改善がある場合 | 評価の視点 | 改善内容 | 改善時期 | 改善により期待される効果 | | |
| | | | | | | |